

混声合唱組曲

作詞 江尻裕彦 / 根本卓也
作曲 根本卓也

景虎

かげとら

海に消えし夢



- ① この海は、荒れ狂う波は
- ② 待ちに待った春が来た
- ③ あなたは二度と
- ④ 門を開けよ、武器を取れ
- ⑤ 越後の雪は、歌にもしよう

- 指揮 飯坂純 ● ピアノ 石野真穂
- 合唱 「景虎」と「妙高山」を歌う！合唱団

混声合唱組曲「景虎～海に消えし夢～」初演

アートステージ音楽祭2022

「景虎」と「妙高山」を歌う！演奏会

2022年12月18日 日 開場=13:15 開演=14:00 妙高市文化ホール 大ホール

■ 入場料=一般1,000円/高校生以下500円 (消費税込・全席自由) ※未就学児の入場はできません。保育ルームを設置しますので、希望される方は公演1週間前までにお申し込みください。

プレイガイド 妙高市=[妙高高原地区] 妙高高原観光案内所 【妙高地区】 十二屋 【新井地区】 志保屋・ニシワキ電気朝日町店・文進堂・妙高市文化ホール
上越市=二葉楽器・マルケー旅行センター・エルマール店

【お問い合わせ先】 妙高市文化ホール：〒944-0046 新潟県妙高市上町9番2号 / tel.0255-72-9411 / fax.0255-72-9412 / e-mail info@myoko-bunka.jp

主催=(公財) 妙高文化振興事業団 / 共催=新井音楽協会 / 後援=妙高市教育委員会・久比岐野合唱連盟

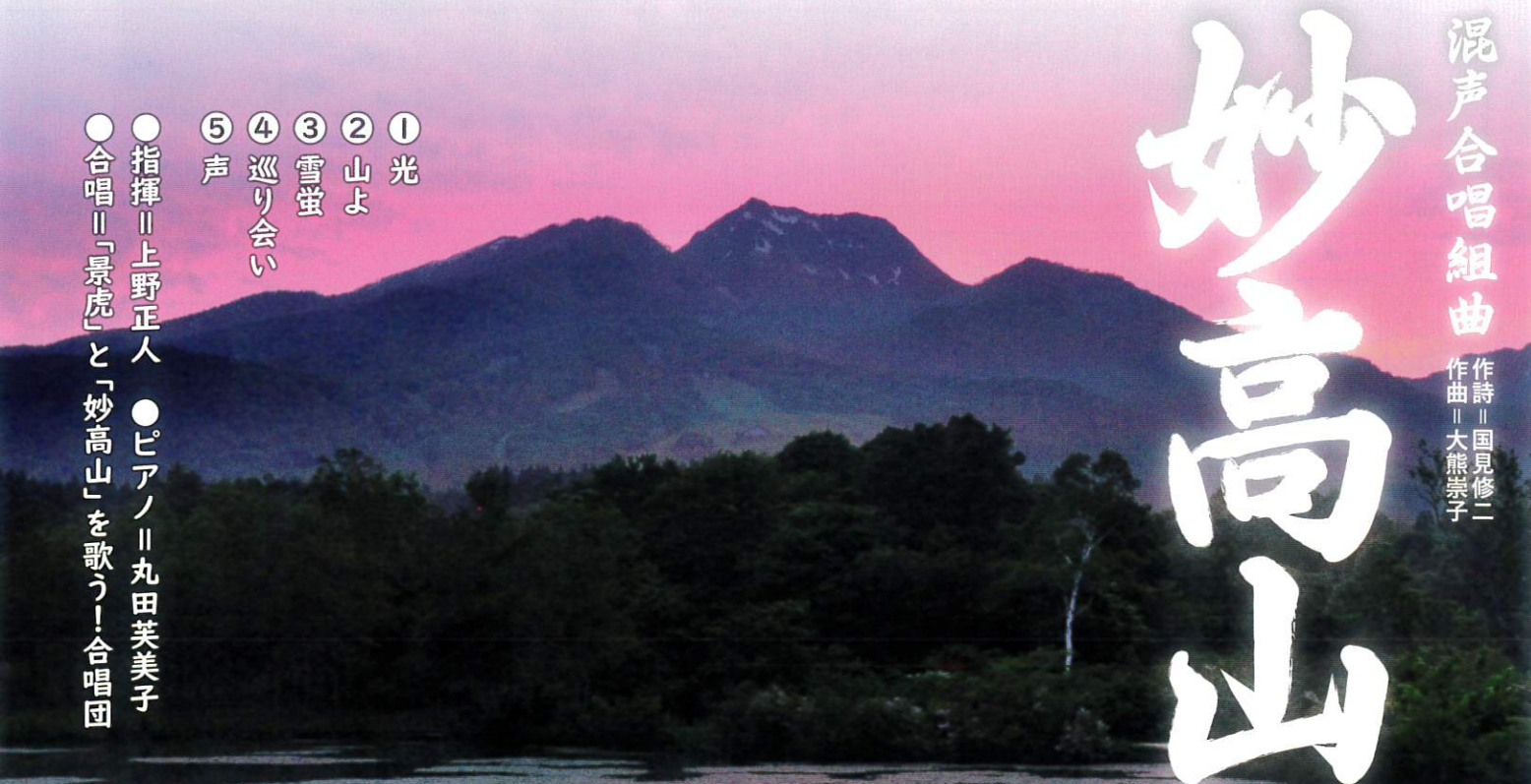
混声合唱組曲

作詩 国見修二
作曲 大熊崇子

妙高山

- ① 光
- ② 山よ
- ③ 雪蛍
- ④ 巡り会い
- ⑤ 声

- 指揮 上野正人 ● ピアノ 丸田芙美子
- 合唱 「景虎」と「妙高山」を歌う！合唱団



「景虎」と「妙高山」を歌う!演奏会

【第1部】混声合唱組曲「妙高山」 作詩＝国見修二／作曲＝大熊崇子



指揮＝上野正人



ピアノ＝丸田美生子

「混声合唱組曲『妙高山』」は、上越妙高地域のシンボルであり、ここに住む者にとって心の拠り所でもある「妙高山」を謳った合唱組曲で、「広域市町村圏における独自の地域価値の創造」を目指した取り組みとして、平成6年から19年にかけて新潟県が行った「ニューにいがた里創プラン」の中で作られ平成16年に初演されました。

妙高市在住の詩人・国見修二さんの詩に、多くの合唱作品を手がけられている作曲家で、ご自身も中学校3年間を上越市で過ごされた大熊崇子さんが作曲して、生まれた組曲です。

【第2部】「景虎」トークセッション

「混声合唱組曲『景虎～海に消えし夢～』」の初演に先立ち、作曲者、指揮者、そして景虎の菩提寺ご住職から、「景虎」についての想いなどをお話いただきます。

出演予定

- ・根本卓也 氏 (オペラ「景虎～海に消えし夢～」、混声合唱組曲「景虎～海に消えし夢～」作曲者)
- ・飯坂 純 氏 (オペラ「景虎～海に消えし夢～」、混声合唱組曲「景虎～海に消えし夢～」初演指揮者)
- ・浅山 景 氏 (勝福寺[上杉三郎景虎の菩提寺]住職)

【第3部】混声合唱組曲「景虎～海に消えし夢～」 作詞＝江尻裕彦・根本卓也／作曲＝根本卓也



指揮＝飯坂 純

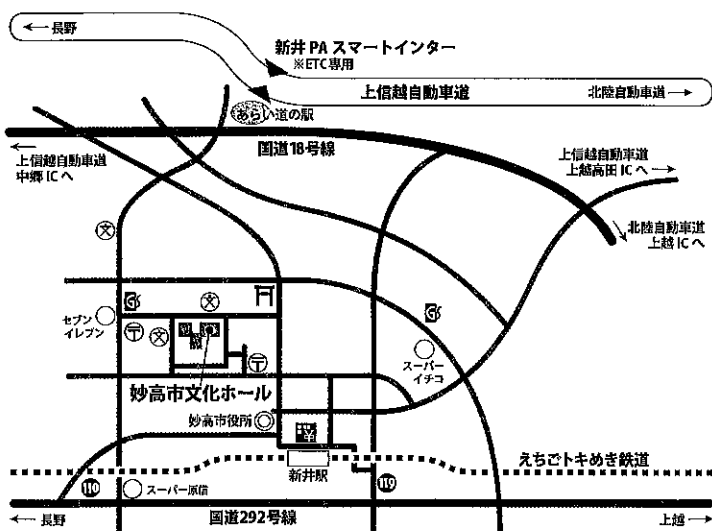
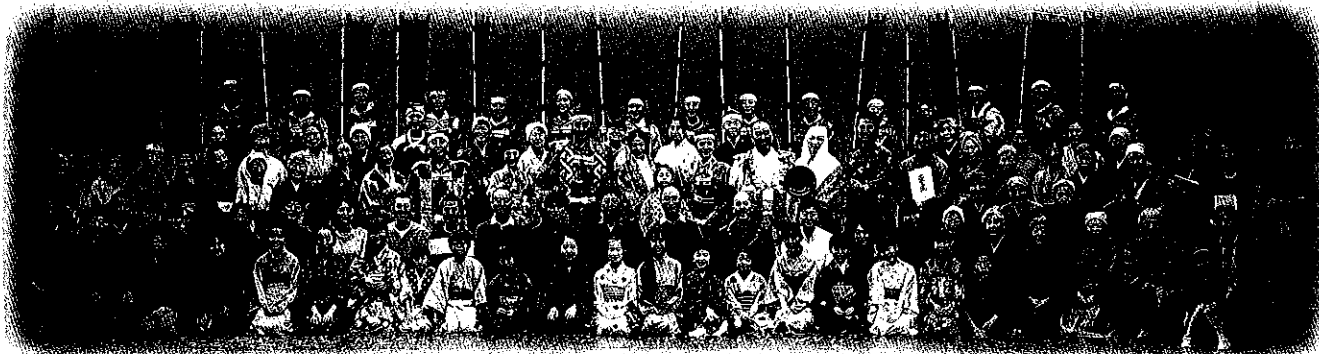


ピアノ＝石野真穂

「混声合唱組曲『景虎～海に消えし夢～』」は、平成30年に妙高市文化ホールの開館35周年記念事業として、ここ妙高の地でその短い生涯を閉じた悲劇の戦国武将「上杉三郎景虎」を題材に創られ世界初演した「オペラ『景虎～海に消えし夢～』」から合唱曲を4曲抜粋し、ソリストや児童合唱部分を混声合唱のみで歌えるように編曲、さらに新曲を1曲追加して構成した合唱組曲です。

この組曲の作詞・作編曲も、同オペラの台本・作曲を手がけた江尻裕彦さん、根本卓也さんのお二人が行っています。

オペラ「景虎～海に消えし夢～」初演時の出演者・スタッフの皆さん



妙高市文化ホール

〒944-0046 新潟県妙高市上町9番2号

tel. 0255-72-9411 / fax. 0255-72-9412

e-mail: info@myoko-bunka.jp

●お車をご利用の場合

新井PAスマートインター (ETC専用) より約7分

上信越自動車道中郷インターより約15分

上信越自動車道上越高田インターより約15分

北陸自動車道上越インターより約30分

●電車をご利用の場合

北陸新幹線上越妙高駅下車

えちごトキめき鉄道(妙高高原方面)に乗り換え、新井駅下車
徒歩で約10分、タクシーで約3分

※駐車スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。